

TALON Tips

＜明細データを選択してそのデータで処理を実施する＞

株式会社 HOIPOI

第 1 . 2 版

1 目次

| | | |
|-------|-------------------|----|
| 1 | 目次..... | 2 |
| 2 | はじめに..... | 3 |
| 3 | Tips セットアップ | 4 |
| 3.1 | 事前準備 | 4 |
| 3.2 | 事前準備 2 | 4 |
| 3.3 | セットアップ..... | 4 |
| 3.4 | セットアップ（その他） | 5 |
| 4 | Tips 概要 | 6 |
| 4.1 | 概要 | 6 |
| 4.2 | 処理フロー | 7 |
| 4.2.1 | 処理フロー..... | 7 |
| 4.2.2 | 処理内容..... | 7 |
| 4.3 | 構築のポイント..... | 7 |
| 4.4 | サンプル機能..... | 8 |
| 4.5 | 構築方法 | 8 |
| 4.5.1 | TALON 機能の構築 | 8 |
| 4.6 | 利用 TALON 機能..... | 12 |
| 5 | 改版履歴..... | 13 |

2 はじめに

本資料はTALON機能を使用した活用例を掲載しております。

「**Tips 共通資料**」と合わせてご確認ください。

また、使用している機能の詳細につきましては「**310_TALON_機能構築マニュアル**」、基本的に機能の構築方法につきましては「**300_TALON_機能構築チュートリアル**」を合わせてご確認くださいよう願いたします。

補 足

.....

TALON Tips のセットアップは、事前に以下の準備が完了している必要があります。

- TALON 本体がセットアップ済みであること
※対応するバージョンについては当ドキュメントの改版履歴に記載しています。
 - TALON 標準ファンクションがセットアップ済みであること
 - TALON リポジトリ移送機能がセットアップ済みであること
-

<注意事項>

-  TALON バージョンにより画面イメージが異なる場合があります。

3 Tips セットアップ

当 Tips を利用する為に必要なセットアップ手順を記載いたします。

3.1 事前準備

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.1 事前準備」を参照してください。

3.2 事前準備 2

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.2 事前準備 2」を参照してください。

3.3 セットアップ

下記セットアップを実施してください。

| No. | 実施有無 | | |
|-----|------|---------------------|--|
| 1 | | スクリプトパッチの適用 | |
| 2 | ○ | 機能のインストール | Tips 番号 : 0009 (リポジトリデータ : TLN_TIPS_0009) |
| 3 | ○ | 機能のセットアップ | Tips 番号 : 0009 |
| 4 | ○ | 機能利用権限の付与 | Tips 番号 : 0009 |
| 5 | × | DocRoot ファイルの 配備 | |
| 6 | × | その他 | |

3.4 セットアップ（その他）

当 Tips はその他の作業はありません。

4 Tips 概要

4.1 概要

明細画面にて複数データを選択し、一括で処理を行う。

TALONデモユーザLOG

TIPS0009_オーダー状況更新

閉じる

検索条件

クリア検索

150検索結果: 8件

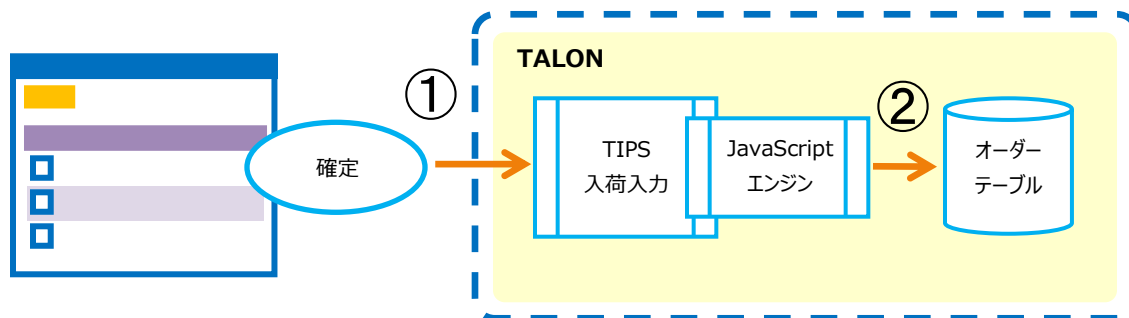
| | 対象 | 製造状況 | | 製造指示№ | 得意先名 | 品目ID | 品目名 | 納期 | 製造納期 | 製造完了時刻 | |
|----|-------------------------------------|------|------|---------------|-------|--------|-------|------------|------------|--------|--|
| 参照 | <input type="checkbox"/> | 完了 | 完了解除 | SZ20170300001 | 得意先 1 | ITEM_A | アイテムA | 2016/11/18 | 2016/11/18 | 17:00 | |
| 参照 | <input checked="" type="checkbox"/> | | 完了解除 | SZ20170300002 | 得意先 1 | ITEM_A | アイテムA | 2016/09/20 | 2016/09/16 | 17:00 | |
| 参照 | <input type="checkbox"/> | 完了 | 完了解除 | SZ20170300003 | 得意先 2 | ITEM_A | アイテムA | 2016/09/09 | 2016/08/31 | 15:00 | |
| 参照 | <input checked="" type="checkbox"/> | | 完了解除 | SZ20170300004 | 得意先 2 | ITEM_B | アイテムB | 2016/08/03 | 2016/08/02 | 12:00 | |
| 参照 | <input checked="" type="checkbox"/> | | 完了解除 | SZ20170300005 | 得意先 3 | ITEM_B | アイテムB | 2016/06/24 | 2016/06/20 | 15:00 | |
| 参照 | <input type="checkbox"/> | | 完了解除 | SZ20170300006 | 得意先 3 | ITEM_B | アイテムB | 2016/06/16 | 2016/06/16 | 15:00 | |
| 参照 | <input type="checkbox"/> | | 完了解除 | SZ20170300007 | 得意先 4 | ITEM_B | アイテムB | 2016/07/04 | 2016/07/01 | 17:00 | |
| 参照 | <input type="checkbox"/> | | 完了解除 | SZ20170300008 | 得意先 4 | ITEM_B | アイテムB | 2016/06/01 | 2016/06/01 | 15:00 | |

対象のチェックをつけて確定を行うことで、チェックしたデータのみで処理が実施されます。

確定

4.2 処理フロー

4.2.1 処理フロー



4.2.2 処理内容

- ① 画面にて処理を実施したい対象のレコードを選択（チェックボックス）。
- ② チェックボックスでチェックされたレコードの JavaScript エンジンと呼出し、処理を実施。

4.3 構築のポイント

- ① TALON は通常、変更のあったレコードのみを処理の対象とします
その為、ダミーのチェックボックスを画面に設置することで、チェックが変更（付与）されたレコードのみで TALON の処理を実施することが可能になります。
当サンプルでは JavaScript エンジンを使用しましたが、プロシーダを使用することも可能です。

4.4 サンプル機能

➤ TALON、TALON 関連機能

| 関連機能名 | 種別 | 関連機能 ID |
|-------------------|-------|-------------------------|
| TIPS0009_オーダー状況更新 | TALON | TLN_TIPS_0009_CHECKLIST |

➤ データベース関連

| 関連機能名 | 種別 | 関連機能 ID |
|-------------------|-------|--------------------------|
| TIPS0009_オーダーテーブル | TABLE | TLN_TIPS_0009_SIJI_ORDER |

4.5 構築方法

<機能構築の流れ>

TALON 機能の構築

①

明細タイプ(更新無)
機能の構築

②

対象レコード選択の
チェックボックスの設
定

③

JavaScript エンジ
ンの組み込み

4.5.1 TALON 機能の構築

サンプル：オーダー状況更新機能の構築

① 明細タイプ（更新無）機能の構築

※ 機能構築チュートリアル「[一覧照会機能の構築](#)」を参照してください。

② 対象レコード選択のチェックボックスの設定

※ 機能構築チュートリアル「[一覧照会機能の構築](#)」を参照してください。

Point 汎用マスタのチェックボックス用の識別コードデータを作成

TALON にてチェックボックスコンポーネントで表現する場合、汎用マスタが必要となります。

1 要素のチェックボックスが必要な為、サンプルでは下記データを登録しています。

| 識別コード | キー値 | 識別名称 | 表示値 |
|-------------------------|-----|--------|-----|
| TLN_TIPS_0009_SEIZO_KBN | 1 | 対象チェック | |

[表示値] は必須項目の為、スペースで登録します。

Point チェックボックスの項目を追加（SELECT 式の追加）

ブロック設定の SELECT 式は手動で変更することが出来ます。

SELELCT 式を変更し、チェックボックス用の項目を追加します。

```
SELECT  
' ' as CHK  
    , TLN_TIPS_0009_SIJI_ORDER. SEIZO_KBN as SEIZO_KBN  
    , TLN_TIPS_0009_SIJI_ORDER. OUTPUT_KBN as OUTPUT_KBN  
    , TLN_TIPS_0009_SIJI_ORDER. MAILSEND_KBN as MAILSEND_KBN  
    . . .
```

青字のように手動で項目を追加します。

Point チェックボックスの項目を追加（項目情報の設定）

SELECT 式で項目を追加後、「項目情報生成」ボタン押下により、項目情報が作成されます。

追加されたチェックボックス用項目に、下記の項目情報を設定します。

| | | |
|---------|---------------------|------------------------|
| 表示項目名 | (任意) | |
| 更新 | チェック付与 | 更新にチェックをすることで入力項目になります |
| 入力桁数 | 2 | 0 のままでは確定時に桁数エラーになります |
| コンポーネント | チェックボックス | |
| 識別コード | TLN_TIPS_0009_CHECK | 上記で登録した識別コードを設定 |

Point チェックボックスの項目を追加（詳細の設定）

当サンプルでは、データを検索後、指定したレコードにのみ処理を実施する為、
処理権限は「更新」にチェックを付与します。

| | |
|------------|--|
| 検索前ボタンの非活性 | <input type="checkbox"/> 更新Excel出力 |
| 処理権限 | <input type="checkbox"/> 登録 <input checked="" type="checkbox"/> 更新 <input type="checkbox"/> 削除 |
| 確定時オプション | <input type="checkbox"/> 排他制御 <input type="checkbox"/> 全件を対象にする |

③ 処理後 JavaScript エンジンの組み込み

※ 他機能呼出の設定については機能構築マニュアル「[JavaScript エンジン](#)」を参照してください。

Point ブロック設定の処理後 JavaScript にコードを記述する

ブロック設定の処理後 JavaScript にコードを記述することで、ブロックのレコードの処理が終了したタイミングで、
当 JavaScript が実行されます。

| | |
|-------------------|--|
| 処理権限 | <input checked="" type="checkbox"/> 登録 <input checked="" type="checkbox"/> 更新 <input checked="" type="checkbox"/> 削除 |
| 確定時オプション | <input checked="" type="checkbox"/> 排他制御 <input type="checkbox"/> 全件を対象にする |
| JavaScript(処理前/後) | <input type="button" value="設定"/> / <input type="button" value="設定"/> ##### |

Point JavaScript エンジンによる対象レコードのデータ取得方法

- メソッド : TALON.getTargetData ()
- タイプ : java.util.Map<java.lang.String,java.lang.Object>
- 説明 : 確定処理を行っている対象データを取得する

<使用例>

```
//検索条件項目'XXXXXXX'の値を取得する。  
var XXXXXXXX_VALUE = TALON.getTargetData()['XXXXXXX'];
```

Point**JavaScript エンジンによるデータの更新（UPDATE 実行）**

- メソッド : `TALON.insertByMap(
 java.lang.String tableName,
 java.util.Map<java.lang.String,java.lang.Object> dataMap,
 java.lang.String[] setColTbl,
 jdk.nashorn.internal.objects.NativeArray whereColNameList
)`
- タイプ : `int`
- 説明 : UPDATE 文を発行する。

<使用例>

```
//テーブルのフィールドの定義
var lstCols = [
    'ITEM_CODE'
    , 'ITEM_NM'
];

//更新するデータの準備
mapData = new Array();
var dtNow = new java.util.Date();
mapData['ITEM_CODE'] = "AAAAAA";
mapData['ITEM_NM'] = "あああああ";

//Where 句の設定
var whereList = new Array();
var whereTbl1 = [ null, '=', 'ITEM_CD' ];
whereList.push(whereTbl1);

//テーブルにデータを登録する
var cnt = TALON.updateByMap( 'SAMPLE_MST_ITEM' , mapData , lstCols , whereList );
```

- 6.16 JavaScript エンジン > 6.16.2 各種タイミングで JavaScript エンジン呼び出す方法

5 改版履歴

| 日付 | 版数 | 内容 |
|------------|---------|--|
| 2017/04/01 | 第 1.0 版 | 初版 |
| 2018/07/10 | 第 1.1 版 | TALON Ver4.1.5 に対応しました。 PostgreSQL に対応しました。 |
| 2019/06/01 | 第 1.2 版 | TALON Ver5 に対応しました。 |
| | | |